

[テーブルクリニック]

アスゾール処方変更による 簡単確実作成法

豊島敦哉 Atsuya TOYOSHIMA

トヨシマ歯科口腔外科
〒618-0012 大阪府三島郡島本町高浜3-1-4-205

アスゾールの処方変更となった

2006年9月よりアスゾールの処方（取り扱い）が変更になった。

旧処方薬は、カーバイドバーで糖衣の部分を下の茶色いコーティング皮膜を目安に注意深く削り取り、その皮膜をメスの替え刃で削ぎ落とすという、慣れないと処理に時間と手間を要する作業を行わざるを得なかった。しかし処方変更後は、茶色の皮膜がシプロキサンのような透明状のフィルムになり、それ

を包む糖衣も剥がれやすくなった。糖衣の部分に衝撃を加えれば簡単に剥がれる場合もあるが、その力加減を間違えると中の薬も粉碎してしまいおそれがある。

コーティング処理を簡単にした器具

そこで、誰でも簡単にできるような器具はないかと探したところ、介護用品の中に錠剤スマッシャー（錠剤を粉末状にして飲みやすくする）という器具を見つけた（図1・図2）。この器具のねじ状の蓋



図1 「錠剤スマッシャー」の外装

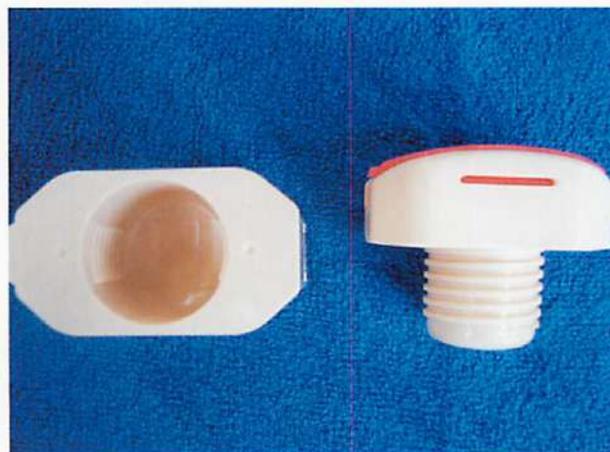


図2 スマッシャーを取り出したところ

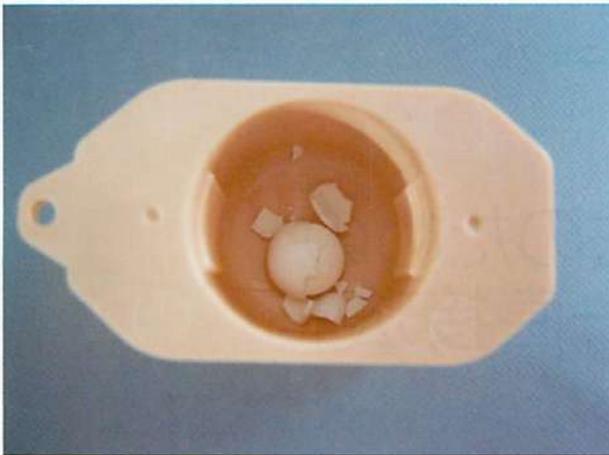


図3 糖衣が砕けたところ



図4 糖衣が砕け、フィルムコーティングが現れたら、メスの刃で剥ぎ取る。

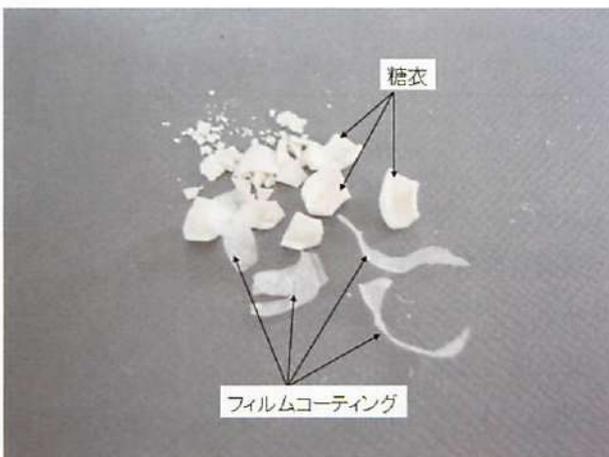


図5 取り除いた糖衣とフィルムコーティング



図6 製造番号の2つ目が「K」以降で始まる記号であれば、新処方品。

を回すことによって、圧力で錠剤が潰れていくので誰にでも簡単に行える。ただこれも一気にねじを回すと、中の薬の部分が粉碎されてしまうので、ねじ部分が薬に当たってからはゆっくりと回し、糖衣の割れる音を確認したら蓋を外して確認する（図3）。糖衣の一部が割れていたなら、11番のメスの刃を割れ目に入れて弾けば容易に剥がれる。フィルムコーティングはシプロキササン同様にメスの刃で削いでいけば薬が現れる（図4・図5）。

旧処方品はまだ有効期限内なので、市場に在庫として存在している。新処方との区別の指標は、箱の裏面に記載されている製造番号で、2つ目のアルファベット記号がK以降で始まるのであれば新処方品である（図6）。J以前のアルファベットは旧処方

品になるので、これらを参考に処理すれば良いと思う。ただ残念ながら錠剤の包装には区別の方法がない。